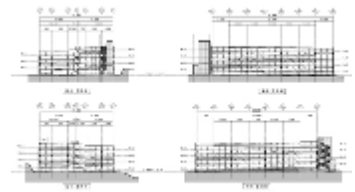


# CASBEE®-建築(新築)

## 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: osk\_CASBEE-BD\_NC\_2014(v.3.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	社会医療法人 啓仁会 のぞみ野駅	階数	地上3F
建設地	大阪府和泉市のぞみ野二丁目1403	構造	S造
用途地域	準工業地域、指定なし	平均居住人員	0 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年3月 予定	評価の実施日	2016年8月11日
敷地面積	2,864 m <sup>2</sup>	作成者	(株)長谷工リフォーム 橋本 憲一
建築面積	1,706 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	5,079 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.6** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%☆☆☆☆ 60%☆☆☆ 80%☆☆☆ 100%☆☆ 100%超:★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

#### Q 環境品質

##### Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

##### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.1

##### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.0

#### LR 環境負荷低減性

##### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

##### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

##### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.7

3 設計上の配慮事項		その他
<b>総合</b> 自走式の立体駐車場の一般建築物(閉鎖型建築物)ではなく、開放性のある建物として設計し、換気設備や、建築材料(内装)の使用を極力無くした設計をした。また、敷地外周部に緑地を設け、外部環境に配慮した。		特になし。
<b>Q1 室内環境</b> 換気設備を設けずに自然換気が出来るよう、外周部に十分な開放性のある外壁面とした。	<b>Q2 サービス性能</b> 外装設計において防錆対策として溶融亜鉛メッキ仕上げを採用。給水配管でSDG白、頻繁な更新が必要な設備はない。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 敷地内の空き地は極力植栽を配置した。また、防犯上視野を遮らない開放性のある手摺高さとした。
<b>LR1 エネルギー</b> 外壁部の開口を開放とすることで自然換気、自然排煙、自然採光を積極的に利用した。また、照明設備の制御方法の工夫(自動点滅器、タイマー)をした。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 構造部材と仕上げ材が容易に分解できる構造としている。また、消火剤について 加圧ガスをCO <sub>2</sub> 、N <sub>2</sub> を使用しフロン・ハロンの回避をしている。	<b>LR3 敷地外環境</b> 道路沿いには極力植栽を配置し、景観に配慮した。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

## 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H28-0077

Osakafu-新築・既存 2015V1.03

<b>【建物概要】</b>	建物名称	社会医療法人 啓仁会 のぞみ野駐車場 新築工事						
	建設地	和泉市のぞみ野二丁目1403-3の一部						
	用途/区分	工場						
<b>【評価結果】</b>	CASBEE 総合評価						B-	
	CO2削減						4	
	省エネ対策						3	
	みどり・ヒート アイランド対策						2	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	
	エネルギー消費量の報告						報告しない	
<b>【評価項目】</b>								
省エネルギー対策		① CO2削減						
		② 省エネ対策						
	項目	評価内容				スコア	評価	
	① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				4.4	4	
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価	建物全体			3		
			住戸・宿泊					
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価						
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価						3.0
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価						5.0
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価						2.0
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価						3.0
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策						
	項目	評価内容				スコア	評価	
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				2.0	2	
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				2.0		
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				2.0		
<b>その他</b>								
		技術の名称			考慮事項			
	先進的技術の導入							
	特に配慮した事項							